

2013
日本南リジョン
ガールズカンファレンス

“女性と女児の教育とリーダーシップ”
～私たちが描く未来～

2013年8月5日・6日 in KKRホテル博多

普通科3年3組18番 緒方美友 (筑陽学園高等学校)

8月5日(月) 1日目

はいはい九州各県 沖縄から福岡の女子高校生が48名集まるのが「ガールズカンファレンス」スタートです!!
各6名8グループに分かれ私はEグループで、福岡3人 熊本1人 長崎1人 佐賀1人 種子島から1人で、
高3生が4人 高2 高1生1人ずつの6人グループでした。最初は緊張してすぐに打ちとけることが
できなかったのですが、国連ハビタットアジア太平洋福岡本部へ向かうバスの中で、オリエンテーションの
余興を考えなければいけないことになり、その話し合いをグループでするにつれて仲良くなっていました。

そしてアクロス福岡の中にある国連ハビタットアジア太平洋福岡本部に到着しました!

まさかアクロスの中にあるとは知らなかったの、少し驚きました。

ここがこの福岡本部というのは、アジア太平洋地域を統括する唯一の本部だと知り驚きました。
東京ではなく福岡に本部があるということが誇りに思えました。

○国連ハビタットとは? 通称:国際連合人間居住計画 ハビタット:ラテン語に「住まい」

“全てのの人に安全で適切な住まいを”

- ① 貧しい国や自然災害の被害にあつた国などでの住みやすい環境作り
- ② UNHCR(国連難民高等弁務官事務所)と協力した戦争難民の救済

① 1978年に初めて健康に生活する権利が認められる → 国連ハビタット創設

貧困国は国連が介入し環境改善を行う(その国の政府と相談しながら)

自然災害が起きた場合も住みやすい都市計画をたてる

気候変動 → 防波堤、護岸工事 岸辺から離れた高台への移住、移島

現地の雇用率を上げる、子供達への安全な食料の供給、新しい法律をつくる、女性への職業訓練や
識字教育などの充実。

② UNHCRと協力した難民救済

UNHCR

- ・未然に戦争を防ぐための努力
- ・仲が悪い国同士の接触を防ぐ
- ・難民キャンプの即座の設置
- ・食料・水の供給

ミャンマー内戦発生、難民発生の場合

スルースに業務移項

国連ハビタット

恒久住宅建設

↓
現地の人達へ中心!!

～国連での女性の活躍～

“コミュニティーエンパワメント”という取り組み

↳ “力を与える”という意味

コミュニティーの能力向上 ↑ (スラムの改善など)

☆ スラム改善計画の流れ

○ コミュニティーの組織化



○ 話し合い (何が必要か・何をするか)



○ 政府からの資金援助
(笑い用は国連から)



○ “自分達”でコミュニティーを作りあげる



○ コミュニティー内の人間関係改善!!

スラム… 住宅の密集化・高齢化によりインフラ整備が
進んでいない不衛生な住宅地。



途上国の都市の人口の30%!!



不衛生な環境のために病気の発生率が高い ↑
火事や洪水の被害にありことも多い ↑

⇒ 国連ハビタットはアジア各国で30年間活動

だから…

・ 評判が良い ・ 誇りがある

◇ 福岡本部はなぜアジア・太平洋地域なの?

世界の自然災害の3割 → アジア けれど… → 他の地域よりも被害者が多し けれど… “弱い環境” である

↳ 国連ハビタットは5年ごとに73万件の再建 (パキスタン) 例 東日本大震災 (全球: 約12万戸 半壊: 約27万戸)

○ 人口の爆発増加 ↑ …… → 人口増加本来良いこと!! けれど… 増えているのは 貧困層 → スラムの増加 (悪)

○ 現地の人々が再興 → 安心で早い → 再び壊れも直しやすい → “自主的復興”

耐震指導

○ 大学優先で再建 → 将来を担う人材育成 → 地元の再建 → 意識高める

早くしなければならぬ!!

女性に優しい町づくり

= 皆にとって安心できる町づくり

・ いかい女性が町づくりに参加しているか?

・ どれくらい能力が向上

・ 夜に安心して歩ける

・ 政治などへの声が届き方

・ パートナーシップの構築

◇国連での女性についての議論の歴史

1975 第1回世界女性会議 in Xシコ

5 「女性の10年」

85 各国の政府に様々な女性参画の政策を要請

第3回世界女性会議 in 北京のサード・シンプ④

2000 ミレニアム開発目標 → 貧困国への資金援助 ↑ ↔ どの項目が最重要なのか？

2015年までに
 (女性の地位向上
 , Gender (性) 問題
 優先して資金投入!!

女性の国会議員の増加 ↑ 、男女の賃金格差



高等教育での男女格差 (地域ごとに状況が異なる!)

生徒の数

サハラ地域: 女子④ 男子③



ラテンアメリカ: 女子③ 男子④

◇復興状況

~アフガニスタン~

- ・紛争による破壊された住居やインフラの整備
- ・コミュニティの強化にも目指した自治組織の立ち上げ
- ・女性のまちづくり参画支援、識字教育、職業訓練など

タリバン勢力 → 数百万単位の人々が各国 (パキスタンなど) に避難

終結 → 戻ってくる → 家がない劣悪な環境 → 急激に人が戻り都市化 → 劣悪な環境

コミュニティの改善 ↑

① 夫と母親と息子2人暮らしの家庭 他にも女性には手芸品や裁縫などの職業訓練

② 6ヶ月の識字訓練



職業訓練



マイクロクレジット方式でお金を借りる



ジャム会社を起業



生活安定

就職



～スリランカ～

スリランカ北部 100年間続く民族抗争 → 約45万人避難

↓
終 末

住宅復興 インフラ整備 → 住民の手で行う

インドからの多額の支援金 + EV, オーストラリア, スイス, 日本など各国からの支援金
スリランカと密接な関係

～ミャンマー～

経済からの発展・ビジネスチャンスが大きい期待されている国

女性パココミュニティのリーダーに

↓

貧富の差、経済格差 → 急激な都市化の原因

↓

強かにひびいていく！

～モリゴレ～

人口 約250万人 その半分の人口 約125万人が首都に ← 半分はスラムに... (約60万人)

政府は野放しに...

遊放民 → スラムに定住 → インフラ劣悪 → トイレも敷地内に穴をあけて

↑から作り直すことは不可能...

↓
コミュニティーが広がった

↓
話し合い

↓
排水路の設置など



片道約5～10kmの水くみ場

↓
ウォーターキオスク (水供給場) の設置
(子供・女性の負担軽減)
安心して暮らせる水の確保



パキスタン

2005年の大地震により甚大な被害を受けた人々の生活を再建するため、住宅支援をはじめとする復興事業を行っています。「よりよく再建する。」これがハビタットのモットーです。



バングラデシュ

首都ダッカを始めとする30の市・町で、スラム改善事業を実施します。都市部で貧困に苦しむ人々の生活環境を改善し、生活上に向けての職業訓練等も行います。



まとめ

- 女性にとって住みやあい町 = 皆にとって住みやあい町
- ジェンダーはあらゆる問題に関係
- ミレニアム開発目標 ジェンダーの平等と女性の地位向上



世界各地で女性が活躍

◇ 4人の女性の国連ハビタット専任職までの流れ

- ① ⑥に転勤している父を心配し母と渡米 → 移民・難民(中東・アフリカ中心)の語学学校に通学 → 英語力、特別なスキルがバリエーションと差別される → 差別にあっている友達を助けたい! → ⑥の大学院で心理学 → テンエイジャー中心の精神病院で勤める ⇨ 外部からの助けで軌道修正できることを実感! → 英語環境で弱者を助けたい → 日本のNGO(廃棄物の環境整備) → 国連ハビタット

- ② 幼少期に親たせサミストリート → 英会話教室 → 小学4年生のときに2週間のハワイ研修(初めての海外) → 異文化に興味深かった → 漠然と英語がやりたい → 高校では部活に集中 → 大学は英語科 ESSのサークル(通訳) → 英語の仕事はそんなになかった... → 民間の仕事そんなが充実していた気がした3年 → 4年で派遣社員 → 東京で国際機関の環境部の派遣社員 → 12年間正社員として勤務 → 何を英語でしたいかが具体的にになった → 国連ハビタット

- ③ 小学4年生の時から国連で働きたい → 私大・英語学部 → イギリス半年留学 → アジア・太平洋子ども会協のコーディネーター → 日本での開発とは? → 東京の大学研究の研究室のアシスタント → ⑥の大学院に1年留学 → 途上国の難民の教育問題 → UNHCRへのインターンシップ → 帰国 → 国連ハビタット

④ 幼い頃 他とかがうけた → 英語 → 海外文通始める → “民間の外交官になること” →
 アメリカ人と始める → 各国36人との文通 → 日本の会社に就職 → アメリカで“日本”を紹介するインターンシップ
 → 貯金して1年間ボラティア → アメリカの大学に編入 (国連研究・費用が安い小さな大学) →
 「模擬国連」を体験 → 教授に「透明人間」と言われる... → 大学から無給で5ヶ月国連にインターンシップ
 → 国連の図書館でインターンシップ様々なことを学ぶ → 短期契約の就職ばかり... → いろんな人に職を求める
 → 朝鮮半島に関する国連機関 → 国連ハビタット

まとめ

現在国連ハビタットで働いている4人の女性にお話を聞きました。4人の方はそれぞれ英語に興味を持ったり、ハビタットの時期も異なり、様々な経験をお持ちでとても驚きました。特に印象に残ったのは、4人の方々がアメリカ留学中、大学の教授に意見を言えず、他の人の意見ばかりを黙って聞いている姿を「透明人間みたいだ」と言われたことです。国連ハビタットで今働いている方でも、学生時代にそんな経験があるという話を私に力づけられました。英語というツールを使って具体的に何をしたいのか？を今ももう少し深く考えてみたいと思いました。

前夜祭

各班ごとにダンスや歌や手品や九州各県ごとの方言での告白の仁方など(笑) おもしろい余興で会場も盛り上がり友達とも仲良く過ごせました!

夜も同じ部屋の福岡県内の子と進路やいろいろなことについて語りました!

8月6日(火) 2日目

2日目! いよいよ最終日としてXイベント!!

<「女性の大活躍推進福岡県会議」代表、前福岡県教育委員 久留 百合子氏> 基調講演I

「Because I am a girl」チャンパーンのマウガさん タリバン勢力に銃撃される

↓ 一命をとりとめる (10代)

街連のスピーチで 「ハートと本が最高の武器だ」

日本の女性はい...

HDI (人間開発指数) = 101位

GEM (女性の影響力、管理職・政治家の数) = 57位

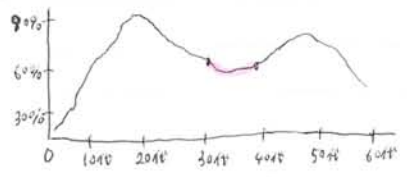
GGI (賃金格差) ④ 正規雇用の男性の67%の賃金 = 25位

世界経済フォーラム (2012年) 135か国中 101位

全体的に女性の活躍指数が低い!!

先進国の中では...

女性の就職率



← 韓国や日本女性のグラフ M字型

30代~40代の女性の退職率が最も高い (出産、育児)

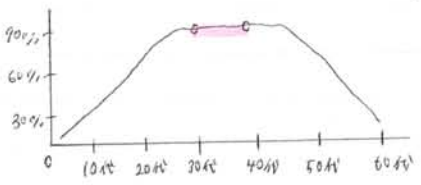
↓
101位の大きな要因!

↓
再就職しにくい... (特異) 女性が多いが 活躍していない

← スイス、アメリカの女性のグラフ 台形型

30代~40代の女性も仕事を続ける

↓
女性も活躍している!



スイスやベルギーの他の先進国でも...

学生 女性 > 男性 ← → 教授 女性 ↓ 減少 男性 ↑ 増加

○日本社会の課題とは？

「**少子高齢化**」

↓ 若年層 ↓

↓

若年層の労働力 ↓

↓

全体の労働力 ↓

平均寿命 女性 84.6才 **1位** 男性 79.95才 **15位**

↓

長生き！ = 良いこと！ = **活力のある国**

〈対策〉

・65才までの勤務

・年金2年延ばし先延ばしなど...

○なぜ、政府が女性の活躍推進なの？

女性に関する法律や制度は整っている ⇔ 男性の管理職、政治家、取締役が多い！

⇕

しかし

⇕

職場や家庭でも男女が子育てをして同じように働く！

女性の管理職 増やす

・ネットワーク構築

・女性管理職予備軍の育成

・長時間労働抑制

「**自分の仕事で社会を良くしていきたいという意識**」 女性に多い！！

○困難にぶつかった時には？

・1人で生きているのではない！

・チャンスをつかむ！

・自分の道は自分で探す！

・しらない！

・体、心の健康を保つ努力！

「**自分達は社会に生かされている！！**」

(税金・親・友達など)

まとめ

久留百合子さんの講演を聞く中で、データとして見ることで、日本人女性の活躍の低さを改めて実感しました。先進国であるにもかかわらず、他の国に比べて活躍の場が少なく、育児や職場の状態などで再就職を断念する女性が多くいることを知り慣れを感じました。

自分の仕事で社会を良くしていきたいという意識が女性に多いことに驚くとともに、そんな女性が、もっと活躍できる社会を私達女性が作っていく必要があるという強い使命感を感じました。女性の地位向上を十数年前から呼びかけ始め、現在次第に変わりつつありますが、これから私達若い世代も言い続ける必要があると思いました。

<第1次フォーカス>

ワールドカフェ形式 ディスカッション → 2人のアドバイザーの方が各席にいて、各6人べばらばらにならなくてトピックごとにメンバーを変えていく形式です。

「トピック1・毎日の生活で思うこと」

- ・中高一貫校でクラスでの絆が強い ⇔ 外部生の入学で絆が強まった
- ・農業高校では男女の特性を活かした役割分担（男子：力仕事 女子：細かい作業）
- ・受験に近づくにつれてクラス全体の団結力が高まった。
- ・同じ長崎県内でも、原爆についての意識の違い（長崎市：原爆投下日は登校して平和授業やボランティア活動 佐世保市：米軍と共存しているため原爆意識低い...）
- ・学校の長年のブランドのために制服で遊びにいけない など...

「トピック2・将来の夢」

私の夢：起業して稼いだ利益で貧しい国々の人々に人道支援を行いたい

- ・身体障害者の方のことについてもっと知ってもらい、一般の方とふれあう場を作りたい。
- ・チャリティアテンダントになって、日本人が持つ「和」の心を外国の方に広めたい。
- ・小さい子にも興味をもってもらえるような様々なものを提案していきたい。
- ・ニュースキャスターになって偏りのない情報を伝えたい。
- ・小説などを書いていきたい。
- ・体育教師になりたい など...

「トピック3・女性として思うことー問題や課題ー」

- ・「イクメン」という言葉はおかしいのではない？一子育では男女どちらもするべきものであるのに...
- ・父親が仕事だからと言って家事を手伝わないー母親も仕事をしているから分担すべきだ
- ・お姑さんに父親の帰宅が遅くても何も言わないのに、母親の帰宅が遅いと文句を言われている...
- ・大学の保健体育科や自衛隊で男子何人、女子何人と書いてあって、女子の人数が圧倒的に少ないのはおかしい。
→ 男女関係なく人として見るべきだ。
- ・まだ職場で男女の賃金格差や女だからと言ったことが残っている。
- ・妊娠して家庭に入ったときの妊婦さんのケア施設の充実、また職場復帰する際のケア施設がまだまだ少ない。
- ・男性の育児休暇制度を充実させ、もっと父親も子育てに参加すべきだ。



そもそも「女性として」考えることがおかしいのではない？



男女平等とは男女それぞれの違いを認め、特性を活かしていくべきだ。

「トピック4. どんな社会にしていきたいか？」

- ・職場に託児所 → 大・中・小企業それぞれの課題
- ・皆が夢を持てるような社会 → 教育から
- ・子持ちの母親同士のサイト → 手が空いている人が代わりに面倒を見る
- ・地域の人と共に子育て
- ・政治にもっと女性の意見や女性議員の拡大
- ・留学を希望している青少年のために もっと奨学金などの充実を!
- ・慢性的な医師不足の解決

<my opinion>

「少子高齢化や核家族化という現代社会の問題点を利点に変えていく社会」

↳ 高齢化にともない退職した65歳以上の高齢者が増加 ↑



しかし、核家族化にともない孤独死が増加 ↑

↳ 核家族化により両親が共働きでも祖父母が手伝ってくれない・手伝えない



両親のストレス増加 ↑ 子供の孤独傾向高まる

☆ 元氣なお年寄り(地域の)と共同の子育て → 両親がいない間も安心、孤独死の未然防止



地域でのふれあい結束が深まる

○ 基調講演Ⅱ〈国際連合人間居住計画(ハビタット) 福田幸部(アジア太平洋担当) 本部長 深澤良信氏〉
内容は国連ハビタットのところでまとめました。

○ 第2次フォーカス・グループ：提言書づくり

○ まとめ・閉会式

グループごとに提言の内容発表、提言書提出

↳ グループごとに提言書(模造紙に)「どんな社会にしていきたいか？」をまとめました。

各グループが分しかたかったので、もう少し時間が欲しかったです。

けれど短い間で簡潔に分かりやすく興味をもてるように説明できていたグループもあったので、

また元々も勉強になり、自分の中の課題になりました。

<2日間を終えて感じたこと。>

私はこの2日間、学校に行き机の上で勉強するだけでは学ばないことも多く学びました。まず1つ目に国連ハビタット本部に行き、世界のどこかで誰かが苦しんでいることを痛感し、自分バビバだけ恵まれているかを感じました。

私の将来の夢である人道支援は漠然としていました。しかし今回ハビタットを訪問し、具体的なイメージがわきました。貧しい国はもちろん、紛争が起きている国でも国連の建物の周りに囲いを作って国連というだけで攻撃を受けてしまうと聞きました。非常に危険と隣り合わせの生活の中でも困った人を助けらやるのが、相当な勇気と覚悟が必要だと思いました。私も国連ハビタットの活動を手本にし、自分にしかできないような方法で人々と協力していきたいと思いました。

2つ目に九州各県から集まった仲間とのディスカッションです。今回集まったメンバーの中にはアメリカに1年間留学していた人やこれから留学する人、ジェンダーについての本を読み自分なりに研究している人など様々な人がいました。

私は自分の意見を積極的に表示し、たくさんメモをとりました。

しかしまだまだ自分に未熟なことが多く自分の発言や言葉の薄さというものも改めて痛感しました。前で発表する際のことでも課題となりました。

様々な人と話し合いを進めていく中で、自分が思っていたことと全く違う意見や違う見方もありまた視野が広がりました。そしてまたメディアの問題性にも気づかされました。いつもニュースで見ていることが現地の人に聞くと内容が全然違ったりと、今の情報化社会のあたりが明らかに became。

今回は多く吸収できた部分もあるが、自分の弱点を知ることができたとても良い経験になりました。

今回私をサポートしてくださった橋本先生、ソロフタミストの方と、両親に感謝したいと思います。